

社会政策学会誌執筆要領

1 原稿の形式

原稿は原則として Microsoft Word 形式で作成し、縦置きの A 4 版用紙に横書きで、全角 40 字×40 行で印字する。原稿の分量は、原則として以下のとおりとする。

(1) 投稿原稿の研究論文

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×400 行】以上【40 字×500 行】以内とする。

(2) 投稿原稿の研究ノート

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×200 行】以上【40 字×300 行】以内とする。

(3) 研究動向紹介、政策動向紹介、史資料解題、学会情報（依頼原稿を除く）

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×200 行】以上【40 字×300 行】以内とする。

(4) 依頼原稿及び小特集原稿

書評は【40 字×125 行】を上限とし、それ以外は上記を目安に、編集委員会からの依頼条件による。

2 図表の字数換算

原稿字数を計算する際、図表は便宜上、以下の 3 段階で換算する。

①A 4 版で 1 頁相当の場合は 40 行

②1/2 頁相当の場合は 20 行

③1/4 頁相当の場合は 10 行

必ず提出前に A4 版で図表をプリントアウトし、読みやすい大きさであるか、執筆者本人が確認する。

3 研究倫理手続き

原稿に利用したデータや事例等については、プライバシーの侵害がなされないよう、細心の注意を払う。また、研究倫理に照らし必要な手続きを行い、研究倫理手続きを経ていることを、本文または注に明記する。

4 提出原稿

投稿に際しては、別に定める「社会政策学会誌編集規程 投稿細則」6 で定められた手続きに則って必要なデータを提出する。

5 原稿の書式

(1) 注・参考文献等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字する。なお、英数字は原則として半角とする。

- (2) 原稿は、執筆者名は記さず、「本文、注、参考文献」の順に記載する。図表は本文等とは別に添付し、挿入箇所を原稿の右の余白部分に指示する。図表番号は[図 1]、[図 2]、[表 1]、[表 2]のように示し、通し番号とする。出典は必ず明記する。必要に応じて原著者または著作権所有者から使用許可を得る。
- (3) 注は本文中の当該箇所、上付き文字で、^{1・2・…}とナンバーをふる。注は、すべてまとめて本文の末尾に 1 行あけて記載する。
- (4) 各頁の下中央部に、頁番号を印字する。
- (5) 句読点は「、」「。」とする。
- (6) 「常用漢字を用いた新かなづかい」による執筆を原則とする。
- (7) 論文の構成
 - ①節 1・2・3…(数字の前後に「第」「節」は付さない)
 - ②小見出し (1)・(2)・(3)…
 - ③以下は (a)・(b)・(c)…
 - ④本文中の箇条書きなどは ①・②・③…を用いる。
 - ⑤見出し中の副題はコロン〔:〕でつなげる。
- (8) 年号は西暦表記を基本とする。和暦を併記する場合は、1987(昭和 62)年とする。ただし、必要に応じて「昭和 50 年代」などの和暦表記を用いてもよい。
- (9) 数の量などを表す数字の表記は、単位語(兆、億、万)を付ける。カンマは入れない。
例：12 億 8600 万人， 15 兆 300 億円
- (10) 幅のある数字を記す場合は、上位のケタの数を省略しない(ただし、年代はこの限りではない)。
例：130～150 万(130～50 万とはしない)、1970～80 年。

6 参考文献リスト

(1) 文献の表記方法

(a) 雑誌論文の場合

著者名、西暦発行年、「論文表題および副題」『掲載雑誌名』巻(号)、頁-頁。

〔英語の場合：著者名、西暦発行年，“論文表題および副題，” 掲載雑誌名 (アンダーライン)，巻(号)，頁-頁.〕

(b) 著書の場合

①単著・共著の場合

著者名、西暦発行年、『書名』出版社または発行所名。

〔英語の場合：著者名、西暦発行年，書名 (アンダーライン)，出版社または発行所名.〕

②翻訳書の場合

原著の著者名、原著の西暦発行年，書名 (アンダーライン)，出版社または発行所名。(訳者名、翻訳書の西暦発行年『翻訳書の書名』出版社または発行所名。)

③編書に収録された論文の場合

著者名、西暦発行年、「論文表題および副題」編者名編『書名』出版社または発行所名、頁-頁。

〔英語の場合： 著者名、西暦発行年，“論文表題および副題，” in 編者名(ed.)，書名（アンダーライン），出版社または発行所名，頁-頁.〕

(c) 編書の場合

編者名編、西暦発行年、『書名』出版社または発行所名、頁-頁。

〔英語の場合：編者名(ed.)，西暦発行年，書名（アンダーライン），出版社または発行所名，頁-頁.〕

(d) ウェブサイトからの引用の場合

著者名、公表年または最新の更新年、当該情報のタイトル、URL、引用のためのアクセス年月日。

(2) その他

(a) 日本語・外国語の文献を分けずに、筆頭著者名〔姓〕のアルファベット順に記載する。

著者が複数の場合、日本語では中点（・）、英語ではカンマ（,）でつなぎ、全員を記す。ただし、英語で、著者が2名から4名までの場合、最後の著者とその前の著者の間は、カンマでなく and でつなぐ。著者が5名以上の場合、5人目以降の著者名は省略し、ほか（日本語）あるいは et al.（英語）と記す。

(b) 英語文献の場合、著者名はファミリーネームを先にし、カンマでファーストネーム等続ける。ただし、2人目以降の著者名はファーストネームを先にし、ファミリーネームを後に記す。表記は原則として原書大扉の表記に従う。（ファーストネームおよびミドルネームはイニシャル表記の場合もある）。

(c) 英語文献の表題、雑誌名、書名、出版社名等は、文頭を大文字とし、それ以外では冠詞、前置詞、接続詞を除くすべての単語の1文字目を大文字とする。

(d) 同年に発行された同一著者の文献が複数ある場合には、発行年の後にアルファベットを付して区別する。

(e) 大学紀要や研究機関紀要は誌名の後に機関名を記す。

(f) 巻号の表記は「第 12 巻第 1 号」であっても 12(1)と表記する。

(g) 英語の場合、名詞等の単語の始まりの 1 文字を除いては小文字で表記する。

(h) シリーズ名等は、書名のあとに丸カッコ内に記す（『書名（シリーズ名）』）。

(i) 日本語・英語以外の言語の場合、著者の責任で適切な表記を行う。

7 引用方法・参照方法

(1) 本文や注において、参考文献リストに挙げた文献の記述を引用または参照する場合は、以下のいずれの方法で明記する。なお、(a)の方法を原則とする。

(a) 引用部分等の文末に、[]を用いて示す。[]内は、著者名（姓のみ、ただし同年

発行・同姓の場合には姓名両方)、西暦発行年、頁-頁の順で示す。英語文献の場合は、[]内は、著者名、西暦発行年、頁-頁の順で示す。

例：…と指摘されている[佐藤、2023、10-11]。

- (b) 引用部分等の前の本文で、著者名[]を用いて示す。[]内は、西暦発行年、頁-頁の順で示す。英語文献の場合は、[]内は、西暦発行年、頁-頁の順で示す。

例：佐藤 [2023、10-11] は、…と指摘している。

(2) その他

- (a) 引用文献が複数ある場合には、セミコロン [;] で区切って併記する。

- (b) 著者が複数の場合には、[筆頭著者名（姓のみ）ほか、西暦発行年、頁-頁]または[筆頭著者名 et al., 西暦発行年、頁-頁]とする。2名の場合、日本語は中点（・）、英語は and で記載してもよい。

- (c) 翻訳書を引用・参照する場合は、[原著の著者名、原著の西暦発行年=翻訳書の西暦発行年、頁-頁]とする。原著を直接、引用・参照する場合は、英語文献の引用方法・参照方法と同じとする。

- (d) 文献全体を参照する場合は、頁数の表記は省略することができる。

附 則

本要領は、2010 年 6 月 19 日より施行する。

一部改正 2009 年 1 月 30 日

一部改正 2010 年 6 月 19 日

一部改正 2016 年 2 月 27 日

一部改正 2017 年 3 月 20 日

一部改正 2022 年 11 月 1 日

一部改正 2025 年 5 月 17 日